

第三者検証報告書

2013年6月28日

カシオ計算機株式会社 御中

株式会社サティスファクトリーインターナショナル
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
代表取締役 小松 武司



検証の対象及び目的

株式会社サティスファクトリーインターナショナル（当社）は、カシオ計算機株式会社（会社）からの委嘱に基づき、会社が発行するカシオサステナビリティレポート2013（レポート）に記載される2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）環境パフォーマンスデータ（データ）に関してレポートに記載する目的に適した妥当性、信頼性および一貫性があるかどうかを検証した。検証の目的はデータの正確性を確認し、客観的証拠に基づき検証意見を表明することである。データは会社の責任のもとに収集及び集計されたものであり、当社の責任は第三者の立場から結論を表明することにある。

範囲

検証の対象範囲としたデータは、

- 1) スコープ1：エネルギー投入量（燃料）、CO₂排出量、SF₆投入量、SF₆以外の温室効果ガス投入量、温室効果ガス排出量（SF₆、その他）
- 2) スコープ2：エネルギー投入量（電力使用量）、CO₂排出量
- 3) スコープ3：物流・販売におけるCO₂排出量、製品使用におけるCO₂排出量
- 4) その他：水資源投入量、VOC投入量、PRTR法対象化学物質投入量、雨水利用量、循環水利用量、大気汚染物質（NO_x、SO_x、ばいじん）、VOC大気排出量、排水量、BOD、PRTR法対象化学物質、廃棄物等発生量、最終埋立処分量、再資源化量

対象範囲とした事業所は、3つの国内生産拠点、16の国内オフィス拠点、4つの海外生産拠点及び19の海外オフィス拠点の合計42事業所である。

検証方法

当社は、会社が提供した資料の確認及び4事業所への往査における資料の閲覧、担当者への質問、根拠資料の証憑突合により以下の事項を評価した。

- データの収集・集計システムの信頼性、運用の適切性
- データの集計範囲の適切性
- 計測データ、収集データの信頼性および集計結果の正確性
- 集計されたデータから導かれた結論の妥当性

検証業務は、以下の基準により実施した。

- スコープ1、スコープ2、スコープ3：ISO14064-3 準拠
- その他：当社独自の検証基準

結論

- レポートに記載されるデータに重大な誤りは確認されなかった。
- 検証の過程において確認された誤りはすべて適切に修正された。
- データの計測、収集及び集計システムには信頼性があり適切に運用されている。